

### 3 - 8 伊豆大島近海地震震央付近の海底地形・地質構造 調査結果について

#### On the Results of Submarine Topography and Geological Structure Survey near the Epicenter of the Izu-Oshima-Kinkai Earthquake 1978

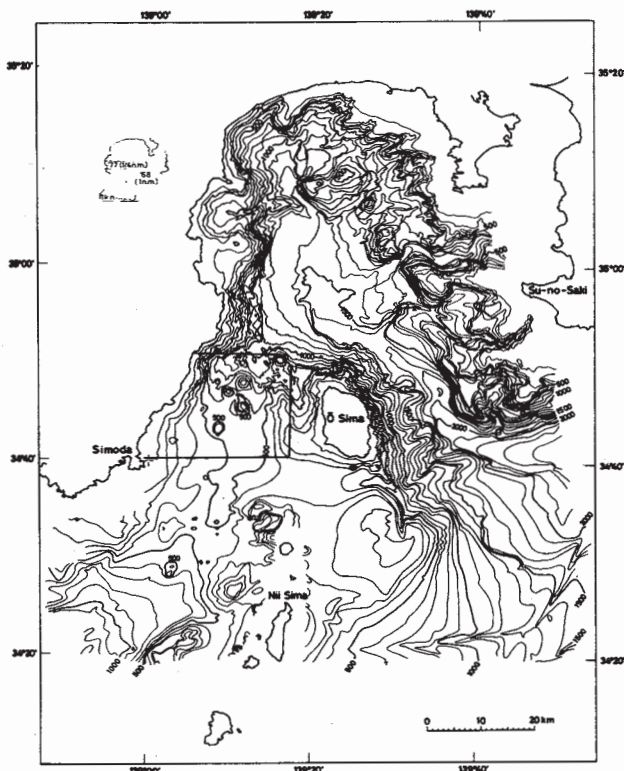
海上保安庁水路部  
Hydrographic Department, Maritime Safety Agency

水路部は昭和 53 年 3 月に、1978 年伊豆大島近海地震に関する特別研究の一環として標記の調査を行なった。調査測線は主測線を南北方向に設定し震源付近を 500m 間隔に他は 1000m 間隔にて航走し、精密電波測位機、音響測深機、ボルトのエアガンによる音波探査を行い、測量船「明洋」(450t)により実施した。

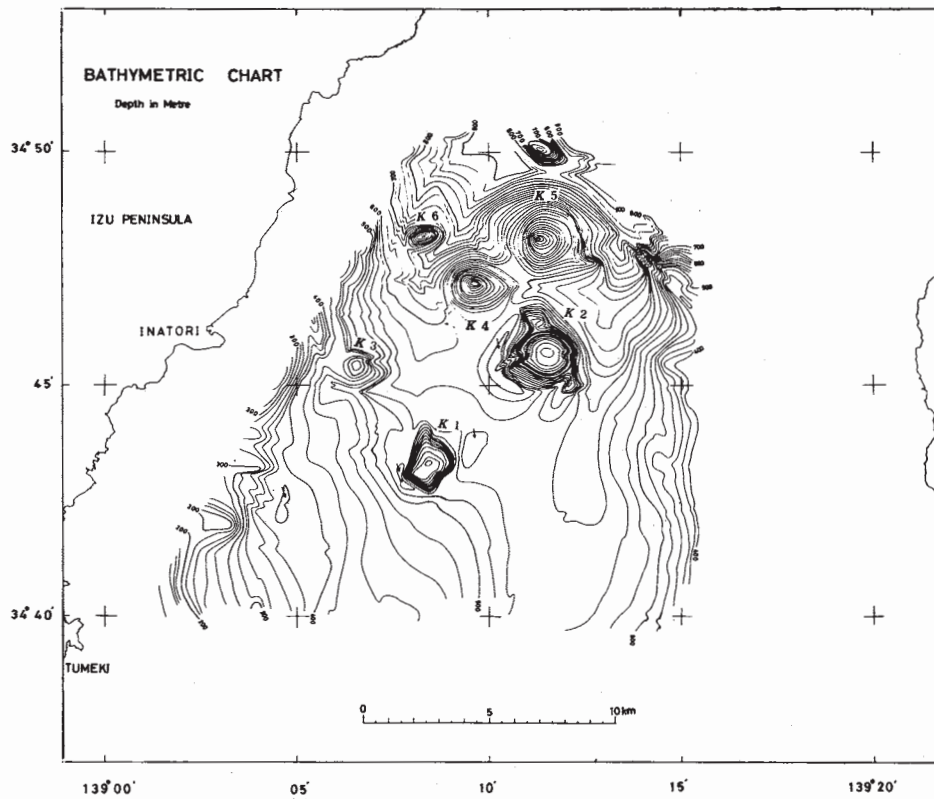
調査海域は、伊豆大島西方-東伊豆町間の海域である(第1図)。

海底地形、既に明らかであった海丘(海底火山)のその山麓にモートという著しい特徴を発見した。そしてこれにより海丘の沈下があったことを明らかにした(第2図)。

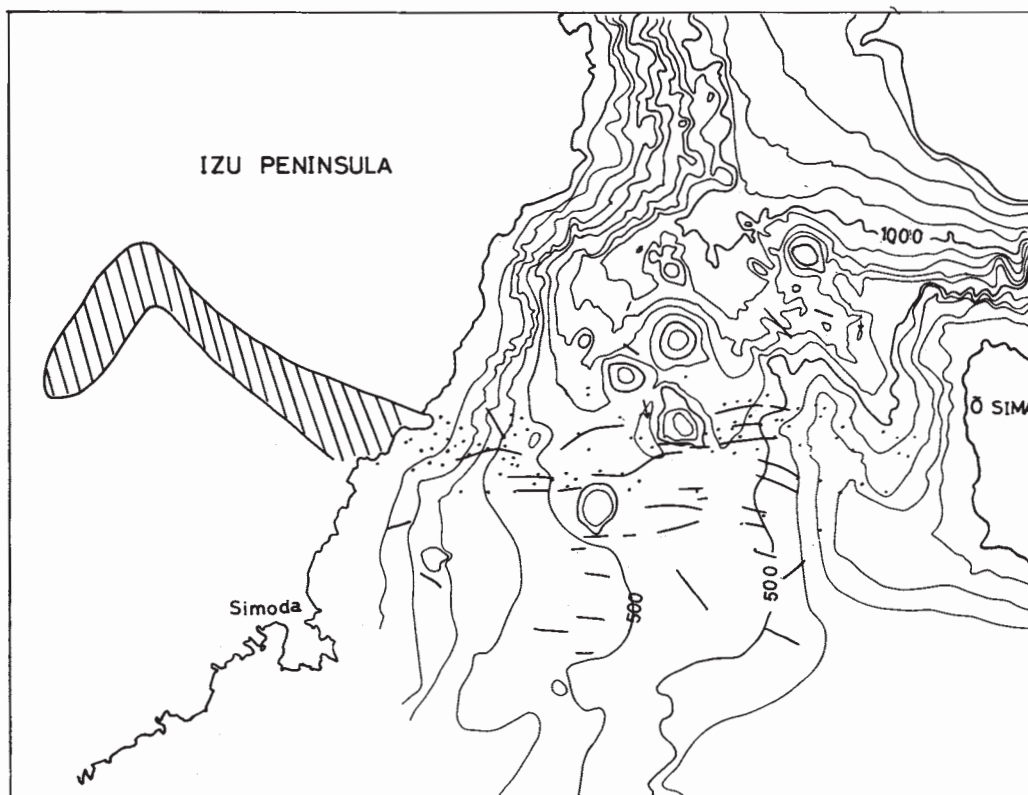
海底断層、今回の地震がほぼ東西方向の断層運動によって起ったものであると推定されているが今調査により東西方向性をもった多数の断層が明らかになったことにより余震分布と断層が一致して存在することが確認された(第3図)。(茂木昭夫・荻野卓司)



第1図 調査海域  
Fig. 1 Surveyed area.



第2図 震央付近の海底地形 K1 - K6 : 海丘  
Fig. 2 Submarine topography near the epicenter K1-K6: knolls.



第3図 余震震央分布と関連の断層  
Fig. 3 Epicenter distribution of after shocks and fault distribution within area.